

# 朱い社の森

## 倉見神社と 二本の緑道を訪ねて

～倉見 地区～

### ①倉見駅



大正15年(1926)4月1日、茅ヶ崎駅—寒川駅間で運行していた相模線が倉見駅まで延長し開業されました。関東大震災後ということもあり駅舎は耐震性を考慮して鉄筋コンクリートで建てられ現在も使われています。

### ②水神宮



水神宮は水難除けとして川や泉などの水辺に祀られます。この水神宮は相模砂利(株)が昭和4年(1929)に建立したものです。この地はかつて観音堂がありましたが、焼失し、そのときの灰を集めていたため灰塚と呼ばれていました。

境内には明治末期に行われていた草競馬の名騎手であった倉見出身の相模五郎の碑があります。

### ③倉見桜緑道



相模川堤防敷を利用して作られた緑道です。延長約460mの緑道南側を中心に約50本の桜が植えられており、お花見に最適なところです。

倉見には文政年間(1818-1830)に相模川の水害を防ぐため堤防が造られました。その後堤防に約千本の桜が植えられ、桜の名所になりました。

### ④十二天神社



十二天は「東西南北と東北・東南・西北・西南の八方を司る護世八方天に天地日月を加えた12の方位を守る十二神」の説があります。境内には2つの庚申塔があり、道標が彫られています。

### ⑤倉見神社



倉見神社の御本殿(表紙写真)は、寛保元年(1741)寒川神社の御本殿として造営されたものが、明治27年(1894)に移築されました。四方に十二支の彫刻が施されており、町指定重要文化財に指定されています。

境内にある2本の榎は樹齢100年以上と推定され、根元から二股に分かれていることから夫婦榎と呼ばれています。

### ⑥陣屋跡



江戸時代初期に倉見村を治めた旗本「高木清方」の屋敷周辺と伝えられています。その後同家は江戸に移り住み、この地は畑となりました。現在は倉見ちびっこ広場の一角に石仏が寄せられています。

### ⑦倉見才戸遺跡



弥生時代中期の大型住居や、環濠、弥生時代後期の竪穴住居や環濠を中心に、古墳時代、平安時代の住居が発掘されました。

特に、弥生時代中期の大型住居は相模川沿岸ではめずらしく、出土した土器や石器からは東海地方の影響がみられるものもありました。

出土品は文化財学習センター(一之宮小学校内)に展示されています。

### ⑧倉見緑道



海老名市境から南に延びる延長約750mの緑道です。相模川左岸用水路の水を利用したせせらぎや、あづまや等の休養施設があり、工場地区と住宅地区を分ける緩衝緑地的な役割も併せ持っています。初夏にはアジサイやフジの花が咲き誇ります。

### ⑨観音堂



観音堂はかつて観音寺と称し、現在の水神宮付近に建てられていました。安政の頃、旅人の火の不始末から火事となり、ご本尊が焼けないよう永池川に投げ込んだと言われています。その後、御本尊は岩田伝兵衛の網に入り、長崎喜兵衛が土地を提供し現在地に安置されました。御本尊は銅造千手観音菩薩立像(像高20.5cm)です。

発行 一般社団法人寒川町観光協会  
住所 〒253-0105 神奈川県高座郡寒川町岡田1-2-3 さがみビル1A  
電話 0467-75-9051  
Fax 0467-98-0209  
E-mail info@samukawa-kankou.jp  
ウェブサイト [寒川町観光協会](#) で [検索](#)

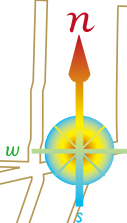


左記QRコードからもウェブサイトをご覧ください

一般社団法人寒川町観光協会

●江戸時代造営寒川神社御本殿を移築した倉見神社御本殿●

- 倉見コース(約4.6km)
- ① 倉見駅
  - ② 水神宮
  - ③ 倉見桜緑道
  - ④ 十二天神社
  - ⑤ 倉見神社
  - ⑥ 陣屋跡
  - ⑦ 倉見才戸遺跡
  - ⑧ 倉見緑道
  - ⑨ 観音堂
- 倉見駅



高木清方の墓

⑤ 倉見神社

JX金属(株)  
倉見工場

HondaCars  
中央神奈川

南関東日立  
物流サービス(株)

行安寺

倉見ちびっこ広場 (株)湘南ユニテック

④ 十二天神社



東海道新幹線

⑦ 倉見才戸遺跡

⑥ 陣屋跡

キリンビバレッジ工場見学



「キリン午後の紅茶」のおいしさの秘密を体験・体感できる見学ツアーです。(要予約)  
電話番号：0467-30-9000

② 水神宮

① 倉見駅

⑨ 観音堂

⑧ 倉見緑道

キリンビバレッジ(株)  
湘南工場

寒川町観光協会  
イメージキャラクター



コンビニ ● 倉見南町

0 100 200m



QRコードからスマホ等でもコースをご覧いただけます